



千葉県版

NO.434

2024年8月15日

発行所

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

千葉県本部

〒260-0854

千葉市中央区

長洲1-10-8

自治体福祉

センター1階

電話

090-7909-0849

(小松 敏)

FAX

043-441-5094

Eメール

a-komatu@jk9.

so-net. ne. jp

千葉県「版」編集部
連絡先 七里一司
電話・FAX
047-314-8714

館山海軍航空隊掩体壕(えんたいごう) この壕は、2018年10月17日「平和のための戦争展しば」実行委員会主催のフィールドワーク「館山戦跡めぐり」に参加した際に撮ったものです。掩体壕は戦闘機を一機ずつ収めた施設で、爆弾に耐えられるように作られています。1939年(昭和14)の記録では、館山海軍航空隊には124機の飛行機があったそうで、その役割は日中戦争で中国へ飛行機を送ることだったそうです。41年に太平洋戦争が始まると、東京、東京湾、太平洋岸を守る基地として使われました。

(写真と文 七里)

7月21日に投開票された沖縄の県都・那覇市の市議選(欠員7)で、日本共産党を含むオール沖縄の3候補が全員当選しました。自民党は、公認・推薦。支持の4候補をたてましたが、推薦候補が落選、3人にとどまりました。得票数でも、オール沖縄の3候補は、自民4候補を2000票以上上回ったとか。

背景の一つに、相次ぐ米兵による性的暴行事件と政府ぐるみの隠ぺいへの厳しい批判があつた。



治安維持法国賠同盟
千葉県本部会長
小松 実

米兵の蛮行を

厳しく批判

那覇市議補選での

オール沖縄勝利

たことは明らかです。昨年12月、16歳未満の少女に対する誘拐・性的暴行と、いう重大な米兵による犯罪が起きたにもかかわらず、日本政府は沖縄県に通報せず、6か月後に地元メディアの報道によって明らかになりました。その前、5月26日には、またもや米兵による性的暴行事件が発生していました。沖縄県民や国民党は、沖縄県議選終了後にそれらの事実を知らされることになります。

異常なまでの対米従属の下、憲法を踏みにじつて「戦争国家づくり」に狂奔する自民党政権は、「ついに国民の命と安全女性の尊厳よりも、日米同盟を優先するところまで落ちぶれた」(日本共産党田村智子委員長)というべきでしょう。オール沖縄の不屈のたたかいに連帶するとともに、同盟運動をはじめ、あらゆる国民運動を総結集して、この歪みきつた政治に審判を加え、転換を実現していくではありませんか。

治安維持法国賠同盟

千葉県本部

事務局から

◆ 7月19日、第2回の千葉県本部理事会が開かれ主な内容は次の通りです。

1、会員拡大

◆ 昨年の11月以来、二桁拡大をやり抜いてきました。今月も二桁をめざし、各支部での学習会、講演会、映画会などを呼びかけて拡大の成果に結びつけることを確認しました。

2、国賠署名

◆ 各支部が目標を設定しました。目標をどうやりぬくか、支部で具体的な取り組みの計画を明らかにしましょう。

3、映画「伊藤千代子」の取り組み

◆ 7月11日、映画「伊藤千代子」の取り組みについて講演

子の生涯」千葉県実行委員会事務局会議が開かれ、今後次のように対応することにしました。

◆ 現在残っている債権6口は次のように活用することになりました。

◆ 現在残っている債権6口は次のように活用することになりました。

意をはかり、9月か10月に支部結成総会を開催する予定です。◆ 全国女性交流集会が11月10～11日開かれ、小松実中央本部副会長が記念講演を行ないます。

千葉土建千葉市支部や民青での上映会で活用します。また、南總など地域での支部主催の上映会でも利用するようになります。

4、報告事項

◆ 県同盟50周年記念講演会は11月16日、千葉市生涯学習センターで開催します。記念講演は藤田廣登さんの「千葉北部無産者診療所の医師・中島辰猪の生涯」です。お説ぎのチラシを近日中に作成します。

5、理事会等の日程

◆ 佐倉支部の再結成について

◆ 三役会と「不屈」発送は、8月16日(金)、9月10日(火)。

◆ 理事会は、8月20日(火)、9月20日(金)、いずれも午後1時から4時まで。

東京地裁での「原爆裁判」は、米軍の原爆投下を初めて国際法違反とした。1955年に広島・長崎の被爆者5人が、サンフランシスコ平和条約で米国への賠償請求権を放棄した日本政府を相手に起訴した裁判である。核兵器禁止を明文化した国際法がなかつた時代に、原爆の非人道性を前提として国際法に照らした画期的な判断であった。原告、政府とも控訴せず、判決は確定した。「原爆裁判」の3人の裁判官の一人は、現在NHKで放送中の朝ドラ「虎に翼」の主人公のモデル、三淵嘉子さんである。原爆投下による爆発と爆風、熱線、放射能は、一瞬のうちに広島・長崎両市を壊滅させ、21万人以上の命を奪った。二度とこのような兵器を使わせてはならない。原爆を投下した米国の責任を問い、核兵器廃絶につなげていくことが重要だ。◆ 「軍事対軍事」や「核対核」は破滅的な結果をもたらす。唯一の戦争被爆国、憲法9条を持つ国にふさわしく、核兵器禁止条約への参加を日本政府に要求する。

房総

会員拡大

会員到達は、667名

7月の会員拡大は10名、退
会4名・転籍1名で月の拡大は
5名でした。会員到達は667
名となりました。

飯島喜美顕彰碑 建立募金

募金総額は、

391万7550円

募金は、7月10日現在、7
06名の方より累計で391万
7550円寄せられました。

心から感謝申上げます。あ
りがとうございます。

国賠署名

署名到達は、

個人358筆、
団体1筆

(団体筆数のみ団体と記し、個
人筆数は記しなしとします)

・7月20日、

船橋支部

37筆

団体

1筆

千葉市支部

122筆

夏季募金

18万9630円

夏季募金が8月1日現在、7
7名の方より18万9630円
寄せられました。この募金は、
同盟活動推進の貴重な財源と
なっております。ありがとうございます。

40度近くもある猛暑日だ
というのに、上野公園にある
不忍池の蓮を「不屈」に載せた
くて出かけました。蓮は見頃
を迎えていました。

今年は、蓮見デッキで200
0個の風鈴がつるされ、涼しげ
な音を奏していました。

上野公園の面積は、約53ha
もあるといいます。公園内には博物館、動物園等、多くの文化施設が存在します。不忍

不忍池で蓮と 風鈴の音を愉しむ

池も公園内のひとつで、周囲は
約2km、全体で約11万m²あり
ます。天然の池だそうで、南部は蓮で埋め尽くされています。

中央に弁才天を祀る弁天島
(中之島)があり、池は遊歩の
ための堤で3つの部分に分かれ
ています。1884年(明治17
年)、共同競馬会社が池を周
回する競馬場建設をしたとき
池が埋め立てられ現在の形に
なったといいます。

(写真と文 七里)

蓮で埋め尽くされた池、中央に
弁才天の屋根が見えます



「会員拡大」にご協力ください



治安維持法同盟千葉県本部事務局長

小松 敦

7月15日の「赤旗」に、「共産党創立102年。科学の目で未来に確信を持つて」と題する「主張」が掲載されました。

「治安維持法などで訴えられ獄中12年を非転向で闘い抜いた日本共産党の宮本顕治氏は裁判で『社会進化と人類的正義に立脚する歴史の法廷は、我々が斯くの如く迫害され……加罰される事は大きな過誤であったと云う事を立証するであろうと信ずる』とのべました。歴史の法廷で、それは実際に立証されました。」

いま自民党政治は「戦争する国」へと暴走しています。岸田政権は2年間で、軍事費のGDP比2%への増額、敵基地攻撃能力の保有、武器輸出にもメ

ドをつけました。こうした戦争をする国づくりの背景には、国民を弾圧し戦争に突き込んでいた戦前の『戦争と弾圧の歴史』に決着をつけられないことがあります。その責任を正面から追及しているのが私たち治安維持法同盟の運動であり、その果たすべき役割はいよいよ重大となっています。

添付しました「入会申込書」を、お知り合いの会員又は事務所にFAX(043-441-5094)をお願いします。ご家族の会員は2000円です。会費は別途、本部より請求します。

行ってみました

日本近代文学館へ

文学館に「共産党中央委が多喜一・百合子の資料「寄託」の記事を読んで

記事があり、行ってみたりました。

作年9月16日から11月2

5日まで「プロレタリア文化運動の光芒」展が開催されていたことを知りました。知らなかつたので見逃しました。残念です。

それでも今回(6月22日)、

・小林多喜二「蟹工船」原稿

・志賀直哉宛書簡、葉山嘉樹

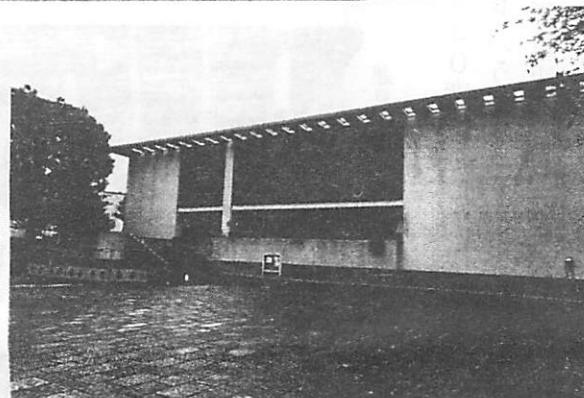
宛書簡

・葉山嘉樹の広野八郎宛書簡

・獄中から徳永直に充てた中野重治書簡

・佐多稻子の小林多喜二宛

『キヤラメル工場から』献呈本などを見ることができました。

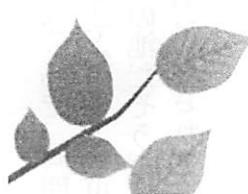


日本近代文学館

日本近代文学館は、京王井の頭線の駒場東大前駅の西口より徒歩7分のところにあります。

(写真と文 七里)

日本共産党中央委員会が6月に、中央委員会が管理運営している、宮本顕治氏遺族所有の小林多喜二・宮本百合子の資料を日本近代文学館に寄託したという『しんぶん赤旗』



千葉市支部

第8回定期総会



治安維持法国賠同盟
千葉市支部事務局長
渡邊喜代子

新役員体制を承認――

暗黒時代に引きずり込むうとする勢力との綱引きに負けないよう、この綱引きに参加してくださる方大募集――2024年度の活動方針

3年度のまとめをおこない、2024年度の活動方針、予算、役員を承認しました。

なかま増やしの活動では、学習会や先人の足跡を訪れるイベント等におおいに取り組むなかで必ず声をかけよう。一人の会員が、1年間に1人の仲間ふやそう。

女性部
部長 渡邊喜代子
事務局

中村きみえ
白石ちよ
小林美子
古瀬直子

古瀬直子

千葉市支部は、6月23日午後、千葉土建千葉市支部の会議室をお借りして、第8回定期総会と学習会のつどいを大雨の中でしたが、15名の方の参加でおこないました。

1部は、県本部小松実会長から「いまにつながる治安維持法体制に決着を」と題しての講演をしていただきました。

「とてもいい話だった。もつと多くの人に聞いてもらいたい」などの感想が寄せられました。

2部の定期総会では、2022

度は、加盟団体の方のご協力や、他団体主催の集会でご協力をいただき目標を達成することができました。今年度もいろいろな場所でいろんな機会に積極的に取り組む事、1人の会員が、1年間に10筆をご協力いただき目標2500筆をやりきりましょうと決めました。

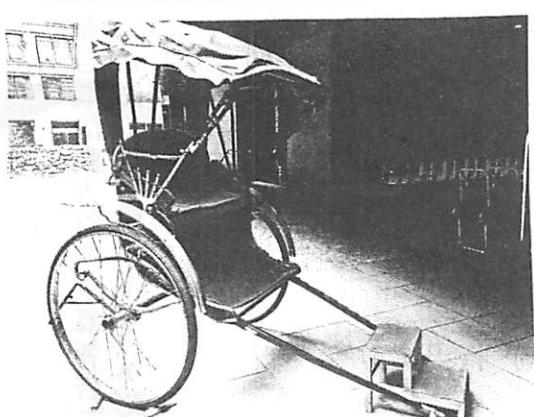
3、県女性部と連携し映画上映会や学習会を実施します。

新役員体制

①千葉市支部役員会は、月1回行ないます。

人力車

日本では、明治・大正期に移動手段として使われましたが、今は観光人力車として観光地でよく見かけます。人力車は1870年(明治3年)和泉要助氏が発明したと言われているそうです。(写真と文 七里)



顧問
支部長 副支部長
事務局長 事務局次長
事務担当 事務局

加藤文三
寺尾さとし
小松 実
渡邊喜代子
佐々木友樹
吉永弘子
佐藤政司
林 和江
細沼敬二
林 和江
古瀬直子

第11回市川浦安支部総会
次期総会までに

三桁(100名)の会員、
800筆の国会署名を

必ずやりとげよう

第11回市川浦安支部総会
が6月27日、浦安で開催さ
れました。

総会前に、治安維持法犠牲
者国家賠償要求同盟創立50
周年記念映画「種まく人び
と」が上映されました。

この映画は、戦前の暗黒政治
のもとで、命がけで侵略戦争
に反対し、主権在民、平和と
民主主義を主張したために弾
圧され、今日の日本国憲法の
礎を築いた治安維持法犠牲者
のたたかいと、その志を引き継
いだ人びとの不屈の戦いの記録
です。

映画上映後、支部総会が開
かれ田中長義支部長があいさ
つしました。

田中支部長は、米軍嘉手納
基地所属の空軍兵の男が、1

6歳未満の少女を車で連れ去
り、自宅で性的暴行を加えた
ことに激しい怒りをこめて抗
議しました。県民の人権と女
性の尊厳を踏みにじる米兵犯
罪が繰り返されたばかりか、
日本政府が米兵の起訴から約
3カ月も県側に報告していま
せんでした。

田中支部長はさらに「同盟の
組織をさらに強化し、治安維
持法犠牲者に対する国の謝罪
と賠償が実現するよう、本日



の総会が今後の展望が見える
ものになる」と願う」と述べ
ました。

報告」「活動方針」「決算報告」
さらに「新役員提案」が承認
されました。

新役員体制

支部長 田中長義
副支部長 七里一司
事務局長 竹内喜忠
事務局次長 堀治子
(財政兼務)



事務局長 田中長義
事務局次長 竹内喜忠
女性部長 堀治子
(財政兼務)

会計監査 安達絹恵

理事 高橋タツ子
阿部武弘
美勢麻里
浅野史子
清水みな子

(写真と文 七里)

ジャノメエリカ

(写真 七里)

つづいて、高橋タツ子財政担
当から「決算報告」がされま
した。

その後、討論がされ、「活動
方針などを報告する」と述べ
ました。

東葛支部学習会・総会を終えて

『飯島喜美の不屈の青春』の学習会で、

報告し感じたこと――

治安維持法国賠同盟
東葛支部員

上野洋子

6月3日(月)柏市中央公民館にて、我孫子、野田、流山、

柏市の会員22名で学習会を行ないました。当日は伊藤千

代子の映画監督桂壮三郎さんと助手の水越さんの参加とい

うサプライズがありました。

学習会では、玉川寛治さん

著書『飯島喜美の不屈の青春』

を、スライドを交えて5人の役

員で章を区切って説明、喜美

さんの実像に迫りました。監督さんのお話で一層深まり、

映画『飯島喜美』の完成が待たれます。

学習会で私は、「検挙・拷問による若すぎた獄死」を担当。

検挙されたばかりの上野署で

は、痛めつけられた仲間の為、看守に水を要求する仲間を思いやる喜美さんでした。

命をかけて転向を拒み、2年

で闘いぬいた強い喜美さんで

したが、拷問で結核を発症し

れた5カ月後、栃木刑務支所

で亡くなるという、あまりに残

虐な待遇と死をどのように報

告したらよいかと、暗い気持ちになりました。

しかし生きていたなら、いつ

も困っている人に寄り添い、バ

イタリティー溢れる同じ千葉

県生まれの元柏市議日下みや

子さんのように、先輩として

活躍したに違いないと思うと、

明るい気持ちに転じて報告で

が東京に出てきて初めて応援した衆議院議員でした。夫は、今喜美さんと同じ碑に眠る。

新井白石終焉の地

(写真と文 七里)

新宿御苑・千駄ヶ谷門の近く

に、「新井白石終えんの地」の看板があります。

新井白石は、江戸時代中期の旗本・政治家・朱子学者。

説明版に次のように書かれています。

「六代将軍徳川家宣・七代家継と二代の将軍に儒官として仕えました。学問の大きな業績によって知られています。しかし、城中の御用部屋はちょうど、小川町の馬鹿毛取上げられてしましました。白石が享保二年(1717)墓からこの土壇を手に入れた。同六年移り住んだ頃は、周囲はすべて青いとした麦畑でした。一方では多くの作を行いました。絶筆となる『采蘋集』の修訂が終わつた五、六日、先づ草稿に書いた、五、六日で波乱に巻きだされ、一生を終わりました。

新井白石



一生を終わりました。

「新井白石終えんの地」の看板

長い歴史の繋がりを感じる深い学習会でした。



「いまにつながる」という表題にハツとしました。

驚愕し震撼しました。戦前、治安維持法を振りかざし、民主的良心的運動を拷問、虐殺をもつて大弾圧した特高官僚が、戦後54名も国會議員になっています。日本の右傾化、軍国主義化を強引におしすすめています。

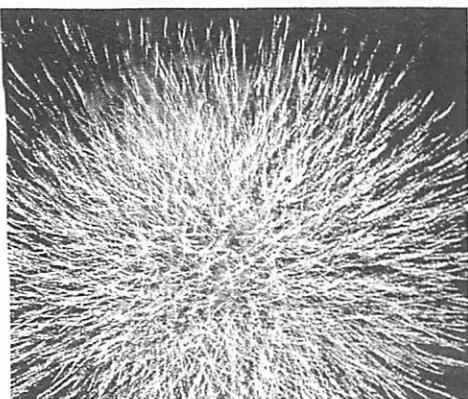
「……しかし、過去に目を閉ざす者は結局のところ現在にも盲目となります。非人間的な行為を心に刻もうとしない者は、またそうした危険に陥りやすいのです」

書評 小松実、荻野富士夫、藤田廣登 共著 「いまにつながる 治安維持法体制に 決着を」

「治安維持法体制」として、
2024年の今日までずっと続
いているのです。
そのことが本書、三人の筆者
によつて次々と明らかにされ
てきます。

本書は最後に、西ドイツ大統領ヴァイツゼッカー、1985年5月8日の、あの演説で結んでいます。

発売中
「いまにつながる
治安維持法体制に決着を」
お申し込みは
頒価 1000円
国賠同盟千葉県本部へ
TEL 090-7909-0849(小松敦)
FAX 043-441-5094



いまにつながる
治安維持法体制に決着を



▲飯島喜美謹毛碑（イメージ＝旭市・日本共産党千葉県
北部地区委員会前庭に2024年12月建立予定）

治安维持法問題同調中央本部副会長
同 千葉県本部会長 小松 実
小物専門大学名譽教授 手野富士夫
映画「力の青春」つくるとも
伊藤千代子の生誕 原作者
治安维持法問題同調千葉県本部会長 藤田 廣喜

治安維持法犠牲者國家賠償要求同盟主葉溫本部

持法と普通選挙法」という授業をしたことがあります、1945年敗戦と共に治安維持法は廃止されたと思つていまし

「共謀罪」「敵基地攻撃」「土地利用規制」「武器輸出」「学術会議への権力介入など、”もはや新しい戦前”という体制をつくっているのだと、本書は詳細に論じています。

し、三木清、戸坂潤の孫弟子を自認する後期高齢学徒です。1945年8月15日を前後して獄死した二人の偉大な哲学者を思うとき、「治安維持法無かりせば」と無念でなりません。

支部機関紙・ 支部だより紹介

支部が発行する機関紙や支部だよりを紹介したいと思ひます。今回は市川浦安支部と船橋支部です。



市浦支部の「不屈」発行は、すでに11年も前から発行されています。全国的に見ても、支部機関紙を休むことなく発

市川浦安支部発行の 支部機関紙「不屈」

貴重な存在

ー 全国でも珍しく

「不屈」は、最初はA4判の4ページ、その後6ページになり、いまは8ページ、今年6月号は、107号となりました。

今年1月発行の「不屈」の記

事を紹介します。

- ①田中長義支部長の「市川浦安支部結成10年、力を合わせ運動を広げましょう」の訴え。
- ②浅野ふみ子県議の「公約実現に向け2024年スタート」
- ③高野邦夫さんの「戦争の記憶、平和の思想」
- ④安達絹恵女性部長の「市川・浦安女性のつどい」を開催しながら、署名と会員を増やしています」
- ⑤七里一司の「『黒い水』浦安

船橋支部は、2023年7月15日に再結成総会を開き、支部活動がスタートしました。船橋支部はすでに、3回目の「支部だより」を発行しています。A4判の4ページです。

今年6月25日発行の「支部

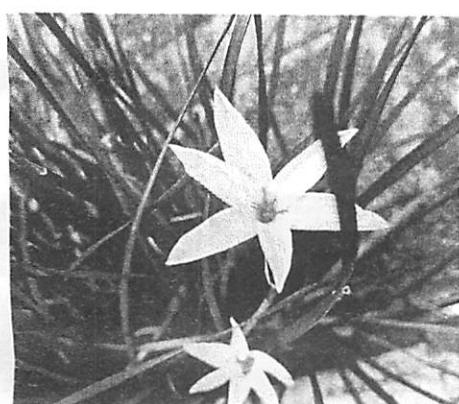
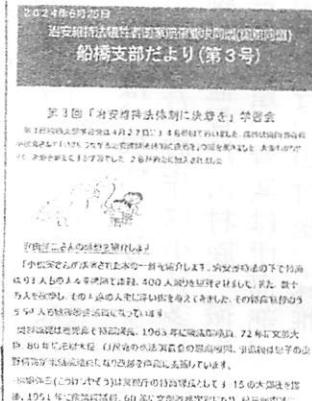
行し続いているのは、市浦支部だけではないかと思われます。創刊号が発行されたのは、2013年6月です。このときは市川支部。市浦支部になったのが2014年2月26日で、「不屈」は、市浦支部発行となります。

千葉県下第2の都市 再結成した船橋支部 「支部だより」を発行

だより」の記事を紹介します。
①第3回「治安維持法体制に決着を」学習会での沢田洋二さんと深津俊郎さんの感想文
②第4回学習会予定のお知らせ

- ④国賠署名への協力の訴え。
- ⑤同盟入会者紹介の訴え。
- ⑥県本部発行の書籍案内と購読のすすめ、など。

歴史に残るたたかい その1
八徳田慶蔵さん
③シリーズ 船橋の勇気ある



タマスダレ

(写真 七里)

映画『蟹工船』

作家・小林多喜二の

不朽の名作を映画化



小林多喜二



映画『蟹工船』の1場面、非人間的労働に、ついに爆発し立ち上がる労働者。

は、1953年（昭和28年）です。監督は山村聰。軍国主義下の戦前では不可能であった、原作の映画化を山村聰監督が監督第1回作品として取り上げ、激動の人間像を日本初の海洋ス・ペクタルの中に、ダイナミックに描きあげました。

戦前の蟹工船は地獄船といわれ、海のタコ部屋といわれる極度な奴隸労働の世界、消耗品扱いの苛酷で非人間的な労働、不法、暴力と脅しに耐えかね、働く人たちがついに立ち上がります。だが、待っていたのは国家による徹底的な圧殺でした。

製作は、現代プロダクション・

山田典吾、原作は小林多喜二、脚本・監督は山村聰、撮影は

宮島義勇、音楽は伊福部昭。

出演者は、山村聰、森雅之、

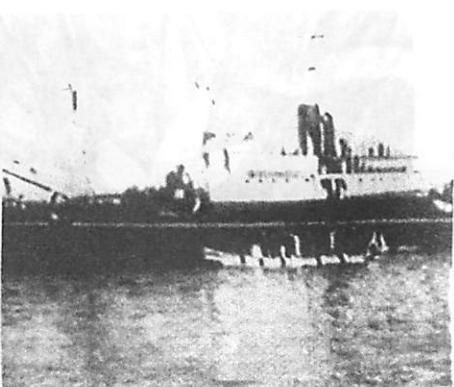
日高澄子、中原早苗、河野秋武、森川信、花沢徳衛など。

私が映画『蟹工船』を観たのは、20歳のころだったでしょうか、地域（東京）での上映会で観たのを覚えていました。

『蟹工船』が映画化されたのを出版されています。



右の写真は、「蟹工船」、左は「蟹工船」での蟹解体作業



小林多喜二の虐殺

1933年（昭和8年）2月2

0日、小林多喜二は詩人の今村恒夫とともに、スペイ三船留吉の手引きで赤坂福吉町の街頭で検挙されてから、わずか7時間後に築地署で残虐な拷問を受けて虐殺されます。



「ことば遊びうた

八千代市 野原隆志

野原隆志

俳句

東京都杉並区 近藤秀雄

●落葉して隣家の窓の灯の明かし

●冬草を抜かんとすれば根の堅し

●北風(きた)強し少女うずくまるビルの陰

●古き枝の先瑞々し帰り花

短歌

鎌子市 三浦好博

●それたかれ打ち出の小槌の税金よ

軍隊の辞書に不正とふはない

●ニッポンに軍事費倍増させたとふ

大家顔してバイデンあかす

●米軍の沖縄戦を思はするイスラエル軍のガザへの侵攻

鎌子市 紗子

●駆けつけてやれず手術を終へたるか

北海道ゆ娘のメール待つ

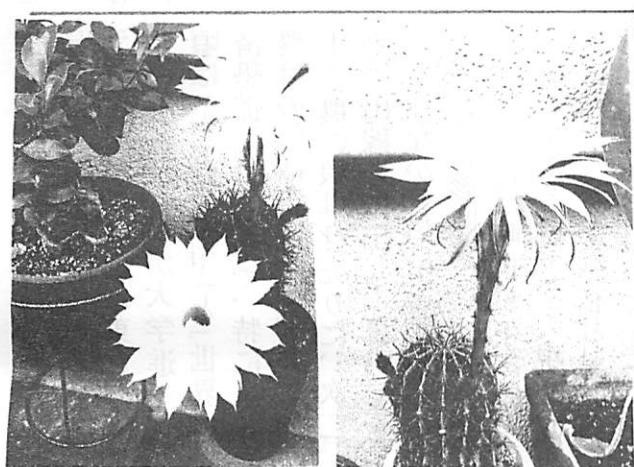
●螳螂の子の一匹が弓なりに我を威嚇す鎌振り上げて
鳥が鳴き夫の髭剃る音のする今朝共産党の創立記念日

「トランプ」で音はポーカー、カード切る。
今は赤い帽子が、フェイクカードを切りまくる。

「全然」は昔は、△ノーブで、今は△イエスでオーケーだ。

「ヤバイ」は昔、バツ印。今は大きな花マル印。

「戦争」は、今も昔も大バツ印。



浦安の及川國壽さん宅の
サボテンの花

「しんぶん赤旗」日刊紙の配達で、及川國壽さん宅にいったらサボテンが見事な花を咲かせていました。丁度外にいた及川さんに「写真とつていいですか」といつたら「どうぞ」というので、スマホを出そうとしたら忘れてきたことに気がつきました。及川さんが「あとで写真送りますよ」と言つてくれたのが、このサボテンの花です。

(写真・及川國壽、文・七里)

「日本共産党の五十年党員が綴る『日本共産党とともに私の五十年史』」が、2000年1月、日本共産党千葉県委員会(編集委員会代表 谷ヶ崎温)から刊行されました。

今回、このなかから高沢義人さんが執筆されたものを紹介します。

日本共産党とともに

私の五十年史

(1)

松戸市、一九四六年

十一月入党

(一九一三年一〇月二十四日)
(一九二一年一月二八日)

高沢義人



(一) 戦前の闘い

(一九三一～四五)

た。

私は前記資料の如く(三八・三・二一四)夜明け警視庁特高に検挙され身柄を荒川署に留置され、三五〇日間拘留され

私は福島県高城村の中地主で代々医者の四男に生まれた。私は前記資料の如く(三八・三・二一四)夜明け警視庁特高に検挙され身柄を荒川署に留

(資料)「昭和特高弾圧史」明

石博隆・松浦総三編・太平出

長兄(医者)、次男(教員)、三兄(銀行)らは夫々大正デモク

ラシー時代に自由に東京の大學生を出たが、私が大学進学の頃は「十五年戦争」と「世界経済恐慌」の真最中で、特に東北農村の生活苦は深刻であった。

小作農の娘は身売りに、次三男は出稼ぎに出して暮らしを

守る外なかつた。医者にかかるのは「死亡診断書」の時だけで

日常診療代は時折軒下に野菜を置いてある位で父の現金収入は殆どなかつた。私は県立農業高校時代、農村問題について「貧乏物語」や細井和喜蔵の「女工哀史」を読み、又「常東農民組合」とつき合つて関心を強くもつてきたが農村の階級的諸矛盾と闘うにはどうして、も法律を学ぶ必要を痛感して、

三四年春上京し、中央法科夜間部に入学した。勿論半苦学を決意し昼間は「丸ビル階段清掃」「神保町古書店」店番、「がり切り」等で月収三〇円を確保した。「司法試験差別問題」が起り全学ストに発展し

て私は特に中心の法科より闘争委員に選ばれ「資料」(一)の如く「青年新聞」を創刊して各大学に訴え支援を求めて廻った。この闘争中のオルグが後日「社会科学研究会」結成の土台となつた。当時日中戦争は拡大し学内には陸軍報道部長橋本欣五郎大佐の率いる「愛国学生連盟」らが戦争を煽り我々「社研」の反戦と対立抗争がしばしば起きた。学生は戦争と真理探求の矛盾に苦しみ社会に加入し哲学や経済学を学ぶ者がふえてきた。(二・二六事件)以後メーデーは禁止され、「日独防共協定」から「国民総動員法」と反戦の言動取締まりは強化され隣組は密告の手先になり供出非協力も法も評議會も総同盟も組合ではなくなつた。政党も労組も国民の声を代弁しない集団となつた。(次号につづく)

日本共産党中央委員会
「特高警察黒書」
編集委員会発行

特高警察黒書

〔III 特高警察の

弾圧の手口

(5)

野獸化した特高警察は、下劣な品性で嗜虐(しぎやく)的な欲望をむきだしにして、リンクと同じ懲罰的な拷問をつづけたのである。

「四・一六事件」で検挙された三浦うめさんは、数年前に故人になつたが、神奈川県の特高警察に、真裸にされて手と足をしばられて吊るし上げられ、腰のまわりにタバコの火を押しつけられる、恥毛をタバコの火で一本ずつ焼かれる、膣内を竹べらでかき回される、といふ破廉恥な拷問を連日、気絶するまで繰り返され、ついに瀕死(ひんし)の重態になつた。一年余りの入院でようやく歩けるようになった

が、手首、足首には見るも無残な拷問の傷跡が生なましく刻みこまれていた、という証言を生前に残している。神奈川の中村警部補などの特高刑事に、三浦うめさんのような破廉恥な拷問をうけた、すぐれた婦人の活動家は何人もいる。また一九三三年(昭和八年)九月二十六日号の『赤旗』には、東京の中野署で、三人の特高刑事が一人の婦人をかわるがわる強姦した後で、「貴様たちは殺そうと生かそうと、どうしようと勝手になつてゐるんだ」と言い放つたという記事がある。これらの例は、もはやたんなる拷問とはいえない。天皇制の国体護持を名分とした特高警察は、野獸化することで人間に破産し、人間性で敗北していたのである。

特高警察の拷問は、共産党員や朝鮮人の活動家にたいしては、とくに狂暴におこなわれた。日本共産党中央委員で懲役十五年の刑をうけて獄死した国領五一郎は、「四・一六事



国領五一郎

ている。金舜実という知識人の朝鮮人の婦人は、早稲田署で両足を大バケツに入れられて氷漬けにされる拷問をうけても、一言も答えなかつたという実例もある。各県、各警察署の特高刑事は、お互に拷問の残酷さ狂暴さをきそい合いながら、新しい拷問の方法を考えている。

件「後半の代表陳述で、『日本警察では、共産主義者をまったく一寸きざみになぶり殺しにするか、ほとんど死にいたるほど激しい拷問によつて当人の息の根を止め、気絶させる。気絶するとこれに注射をして蘇生させ、一週間か五日寝かしておいて、元気が回復すると、二度三度引きずり出してこの種の拷問をくり返す。私も一週間に半殺しになる程度の拷問を四回もおこなわれたことがある』と述べて、神戸の警察

の谷川巖氏は、一九三四年(昭和九年)二月、スペイの手引きで東京の久松署に検挙された。警視庁で悪名の高い特高係の中川、山県、鈴木、宮田、須田らの五人がそろつた。谷川氏は、当時、共産党の中央委員として一人だけ残つていた。榜田里見との連絡日時、その場所を」という一点のみを追及する拷問をうけた。指の間に鉛筆をはさんでねじり回す。髪の毛をつかんでひきずり回す、いすに腰かけさせたヒザの上に丸太棒を置いて、左右の両脇に一人ずつ、四人の力で

(前ページにつづき) ある。

押さえつけた丸太棒をグリグリ回すと、もの凄い激痛だった。五人の特高係は、袴田里見との連絡方法を知ろうとして必死の拷問をつけた。さらに別の電気椅子に腰かけさせて、足先から上体へ段々に電流を強めたり弱めたりしながらの電気拷問で、全身がしびれた。最後に谷川氏は、後ろ手にしばられて天井から逆さ吊りになると、ついに気絶した。翌日も一日中、まったく同じ拷問がつづけられて、再び意識不明になつた。しかし、谷川氏は口をわらなかつた。その後、原宿署、四谷署とたらい回しされた。一ヶ月ぐらいは一人で便所に行けなかつた。四谷署では赤痢にかかり駒込病院にはこぼれた。やせた両足に鉄鎖をはめられたままで、ベットの両側には警視庁と所轄署の二人の特高刑事が、連日連夜、たえまのない監視をつづけていた。特高警察の拷問で、電気椅子の体験は、谷川氏だけのようだ

特高警察の拷問は、自白を強要するためのみおこなわれたのではない。多くの拷問は特高警察の成績をあげる目的で、ウソの自白をつくりあげるためにおこなわれた。大戦末期には、破滅的な戦争の継続を批判する良心の声をうばいつくす弾圧計画で、ウソの自白を強要するために、「おれたちは天皇陛下の特高だ。不忠の非国民は殺してもよいのだ」とわめきながら、平和と民主主義をねがう人たちに、狂気の拷問がおこなわれた。

ど勇敢でも立派でもなかつたことは、検挙された私自身がよく知つてゐる。また当時の雑誌はきびしい検閲を受け、戦争や軍部に批判的記事をのせることは不可能に近かつた。雑誌をドレイの文字で埋めながら、活字の行間にわずかの批判的な空気をただよわすほかなかつた。しかしこうした総合雑誌の体質が、弾圧を招いたとはいえるだらう。だが表面上にあらわれた証拠はなにもない。私たちも反戦の共同謀議をしたことなど一度もない。無罪となつた松川事件にも、誰かが列車転覆をやつたという事実は存在する。しかし横浜事件には、その事実さえもなかつた。拷問また拷問はありもない事実を白状させるほかなかつたのだ。この事件が中央公論社、改造社、岩波書店、日本評論社、朝日新聞社など、マスコミ関係の二十三人の検挙者中、六人の死者をだしたのは、当時の食糧事情もあるが、拷問以外には取り調べの手

段がながつたからである。
私のことを簡単に書くと、検挙された日、カシの六尺棒が折れてしまうほどなぐられ、柔道何段かの男に投げとばされ、首をしめられて気絶した。息を吹き返すと、特高主任が私の顔を両足でぶみにじつた。
「おまえは『中央公論』の次長だそうだが、ここへ来れば虫ケラ同然だ」とい、そのことを行為で示す“儀式”だつたらしい。ひどく臭い靴下であつた肉体的な苦痛と死の恐怖で、共産党員だというウソを認めまるまで、拷問は連日つづけられた。両股が赤黒くはれあがり、毎日かつがれてブタ箱へ帰ってきたが、いちばん困つたのは便所でしゃがめぬことだった。……私のからだにはいまも拷問の傷あとがある。しかし私の拷問は軽いほうだったらしい。最初につかまつた連中は水責め、エビ責めのほか、天井から逆さづりにされ、木刀や竹刀でなぐられたそうだ。